

(様式1)

北海道釧淵高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和8年度に重点化する取組及び具体的方策		
5つのミッション 8つの行動計画		行動計画の中で重点化する取組	目標達成 期 間	具体的方策
I グローバル教育で 人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	全ての科目において、プロジェクト学習を取り入れ、課題解決学習を主軸とする学習を実践する。	A	授業担当者は、課題解決学習を授業の中で実践する。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	釧淵町の姉妹都市であるペルー共和国タルマ市の特産物キヌアの活用を通して、グローバル教育を実践する。	B	釧淵産キヌアの様々な活用方法について学習する。国際教育につながる学習活動を展開させる。
II 地域社会・産業に 寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 町の特産物であるジャガイモやマメ類等を生産することで、地域の理解と栽培過程を学習する。 (2) ショウガを地域の特産物となるよう活用方法まで学習を深め、地域へ普及活動を行っていく。	A A	(1) 特産物栽培において、播種から収穫までの作業体系を体験し、知識・技術の習得に努める。 (2) ショウガを地域農家と協働で栽培し、普及に向け生理生態・活用法を学習する。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	2年次における町内農家委託実習、3年次における産業現場実習を実施し、地域産業構造や6次産業など、地場産業の理解に努める。	A	2年次農家委託実習5日間、3年次産業現場実習5日間において、農業や地域関連産業に従事することで職業人として地場産業の理解を深める。
III 地球環境を 守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 温室栽培における冬季のハウス施設の暖房を節約し、灯油使用を抑制する。 (2) プロジェクト学習における循環型農業の推進に努める。	B B	(1) 2重ハウスにすることで、灯油使用量を制御する。 (2) 地域未活用資源の有効活用を目指す。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	絵本の里「けんぶち」ならではの取り組みとして、絵本を教材とした地域資源を活用し、情操教育を実施する。	B	絵本の読み聞かせなどを通して得られる教育力を主体的に活用する取り組みを実践する。
IV 拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	ICTを用いたスマート農業について、近代的農業経営における学習を実践し理解を深める。	A	外部機関と連携した先端技術の視察見学等を通して、理解を深める。
V 推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 定期的に防火査察を実施し、日頃から地域防災意識を高める。 (2) 自然エネルギー活用を意識した教育を実践する。	A B	(1) 毎月防火査察を実施し、防災教育を推進する。 (2) 再生可能な資源を活用した教育を実践する。